

2024.2.14 wed ▶ 2.16 fri

サンシャインシティコンベンションセンター  
主催：公益社団法人日本印刷技術協会 page.jagat.or.jp

## page2024 オンラインカンファレンス・セミナー 写真学会特別参加費設定

2024年2月9日(金) 13:00~15:00

## 【C5】次世代ワークフロー 結論編(RGB+CMYK 混在入稿)

CMYK データのみの印刷ワークフローが将来のためになるだろうか？

多様なカラー形式に対応で、多種類印刷方式で、最適な印刷物を作るための、次世代のワークフローを考える。

JAGAT では最新ワークフローを実践すべく、2019 年からの出版物はデジタル印刷を基本として製作している。デジタル印刷らしく印刷技術の基本テキストになっている「みんなの印刷入門」は印刷(増刷)する度に改版して現在は第 10 版となっている。増刷は皆無と言いたいところなのだが、販売予測を誤って、第 9 版だけ二刷りが存在しているのはご愛敬と勘弁いただきたい。印刷白書も 2023 年度からオールデジタル印刷化している。もちろん毎月発行している会員向けの月刊誌 JAGATinfo も 2022 年度の 7 月号からオールデジタル印刷化しているのだが、表紙(表 1~4)はカットシートタイプのトナー機で、本文はロールタイプのインクジェット機で印刷しているのだが、印刷所の頑張りもプラスしてほとんどトラブルなく移行することが出来た。デジタル印刷化も一年経ったので、次なるステージへ挑戦しようとして「RGB+CMYK 混在入稿」ワークフローに 2023 年度の 7 月号からトライし始めている。これまで総合研究会で二回報告してきたが、page2024 カンファレンスで結論編として、従来印刷常識とされてきた「トラッピング処理は必要なのか?」「総インキ量は??」「USM は??」等々と検証してきた。その集大成として今回は最終報告編(最初のステップから解説)をお届けする。

RGB 入稿という再現色域を大きくする入稿方法と短絡されがちだが、かつての印刷メディアはメディアの王様だったので「印刷標準(Japan Color)に合わせろ?!」で誰も文句を言う人間はいなかったが、現在のメディアの王様はインターネットだ。RGB データが主体になるべきであり、そんなワークフローまで考えたのが今回の「RGB+CMYK 混在入稿」ワークフローである。「再現色域を大きくするだけのものではない」と言っても、JapanColor に無理矢理まとめるのと比較すれば、はるかにスッキリとトーン再現がなされている。そんな事まで総合的に報告するセッションである。

## 【セミナー講師陣】

山本 久喜

東洋美術印刷株式会社 代表取締役社長

久保 正彦

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 デバイステクノロジー事業本部 デバイスプラットフォーム開発部

出口 慶

株式会社日本 HP デジタルプレス事業本部 カスタマーサービス本部

庄司 正幸

JAGAT 客員研究員 / システムプランナー

笹沼 信篤

JAGAT 特別研究員 ~'19 キヤノン株式会社 電子写真方式プリンターの開発設計を従事

郡司 秀明 モデレーター

JAGAT 専務理事

## 参加費と支払方法

【参加資格】日本写真学会正会員限定(正会員、学生会員、学生団体会員は参加可能)

【参加費】日本写真学会特別参加費: 3,000 円

※参加申込希望の方は、page2024 オンラインカンファレンス・セミナー 写真学会特別参加費設定【C5】次世代ワークフロー 結論編(RGB+CMYK 混在入稿) **参加申込フォーム(Google Forms 使用)**→ <https://forms.gle/vR4NpF32SQYsccz68>

の各項目に記入して送信してください。送信後に、参加費支払サイトの URL が表示されますので、そちらにアクセスして参加費をお支払いください。支払い方法は、クレジットカード、Apple Pay または Google Pay が利用できます。

※非会員および賛助会員所属の方: 参加申込前に入会申込をすれば、会員限定価格での参加が可能となります。(入会申込は [こちらから](https://forms.gle/nYmhzmgFxZEsWaoG8)) → <https://forms.gle/nYmhzmgFxZEsWaoG8>

日本写真学会プリント技術研究会: 郡司秀明(JAGAT)事務局: 山岸治(日本写真学会)

(連絡先) 日本写真学会プリント技術研究会「カラーマネージメント勉強会」係

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学 8 号館 1F

Tel: 03-3373-0724 E-mail: [info@spij.jp](mailto:info@spij.jp)